

●Minimumな装備

前項で入場待機時間が短くなったことで減らせるのは水や食料といった消耗品くらいと述べた。何故なら、熱中症もグリラ豪雨も、感染症さえも、実際に発生したり、遭遇するのはごく短時間なのだ。しかし、その短時間に被る大ダメージを考えれば、それを防ぐためにこそいくつもの持ち物や準備の意義がある。したがって待機時間がいくら短くなったとしても、それはアクシデントの発生確率がゼロになること、準備が不要になることを意味しないのだ。

実際、前夏C102では会期中の午後に雨が降り出して大手サークルの購入待機列に並んでいたり、西地区から東地区へ移動するための移動ルートとしてたまたまその時間屋外に滞在していた参加者たちを大いに慌てさせたが、そこには午後から入場した参加者も、サークル参加者も、コスプレイヤーも居たはずだ。参加区分に限らず、全員が最低限の対策をというのは、そういうことなのだ。

●夏コミ用持ち物リスト●

https://www.comi-navi.com/contents/pdf/bring_list_summer3.jpg



●Maximumな準備

コミケットに限らずだが、外出時の準備というものはどれだけの事態を想定するかで変わってくる。たとえば日常でも雨が降りそうなら傘を持っていくし、冷えそうなら上着を用意していこう。

長時間になるほど、日常から離れた環境や場所になるほど、その準備は大切さを増す。家や必要な物を調達可能なスポットに簡単にアクセスできない状況でアクシデントに見舞われた場合には、その準備に頼るしかないからだ。

コミケット参加に必要と考えられる準備は以下の通り。

- ・暑さ／陽射し、熱中症予防対策
- ・自分自身と荷物を含めた雨対策
- ・ケガ、病気を防ぐための対策
- ・同人誌購入のため、頒布のための準備
- ・体力管理のための補給準備
- ・連絡／情報収集方法の維持

個人個人で必要な物は上記リストを参考に選定して欲しいが、これらができるだけバランス良く、かつコンパクトにまとめる必要がある。

自分がコミケットに参加している活動時間、往復の距離／必要時間、自分の体力、同行者の有無などを把握して、準備は入念に行おう。



●頭と足元からの陽射し対策

『陽射しの強い場所に出かける時に必要なものは？』と質問すれば、ほぼ全員が『帽子』と答えるだろう。そして帽子は実際に効果が高い。頭部に直射日光を浴び続ければたとえ顔にしっかり日焼け止めを塗っていても頭皮は日焼けするし、体温が上昇しやすくなる。帽子を被るだけでそれを防ぐことができる。

逆にいえば、帽子を被らずに他の熱中症予防グッズをいくら使用しても効果は薄い。遮熱効果では日傘（※）が勝るが、日傘は周囲の参加者の密集度や行列移動時などはさせないこともあるので、まずは全員忘れずに帽子を用意しておきたい。

また、とくに女性用のサンダルは足の露出部が多い、ストラップが細いなどの構造から気づかないうちに足の露出部分を日焼けしてしまい、そこがストラップに擦れて痛みを苛まれるリスクがあるため、足元はしっかりした靴を選択するのが賢明だ。

（※）日傘は基本的に周囲の参加者に傘の先端が接触しないくらいの間隔が確保できる状況でのみ使用する。周囲に他の人が密集している場合は使用を避ける。また、コミケスタッフからたたむよう指示を受けた場合には必ず従うこと。